岸和田市スマートシティ推進協議会参画企業募集　評価基準

評価項目			配点	評価の視点
（１）参加資格			－	
	①	提出書類	－	参加表明書及び企画提案書類に不備がない。
	②	提案の適合性	－	スマートシティ構想及び部会における協議内容に基づく課題感及びサービスイメージ等との整合性が確保されている。
	③	業務実績	－	・スマートシティの推進に資する取組として、行政機関又は関係団体との連携実績、健康増進・行動変容支援・住民向けサービスの実施実績又は実証事業、デジタルサービス導入・運用の実績がある。 ・これらの実績において、単なる参画にとどまらず、企画、調整、運営等を主体的に進めた経験を有している。 ・これらの実績を踏まえ、本提案を遂行できる体制及び実施能力を有している。
	④	事業推進力	－	本市課題解決のため、本市と連携し、提案ソリューション（技術、製品、サービス、システム等を含む）を用いて実証実験の取組を主体的に行える（実施体制含む）。
（２）企画提案				
	①	岸和田市におけるスマートシティへの理解	10	・岸和田市スマートシティ構想及び公募資料等の情報に基づき、本市の課題感や目的を理解した提案となっている。 ・「岸和田市スマートシティ構想」の推進及び本市における実証・実装の実現に寄与する観点が記載されている。
	②	本市における地域課題解決に関する適格性	20	・本市が提示した課題に対する分析が適切であり、解決手法から結論までの説明に論理的な一貫性がある。 ・対象者の設定・想定ターゲット及び提案内容は、本市における課題解決に資するものとして適切である。 ・提案された解決手法の推進によって得られるメリット、本市における課題解決に資する根拠が明確化されており、既存施策や他施策との差別化が整理されている。
	③	実行性・実現可能性	30	・提案内容は、課題解決に向けた具体的な手法として適切であり、実施に向けた進め方やイメージは明瞭さを備えるものである。 ・提案内容実現に向けて必要な体制が具体的に示されており、これまでの関連実績・経験が提案の信頼性を支える根拠となっている ・対象者への到達方法、募集方法及び参加動線が具体的に整理されている。参加動線は、対象者にとって参加しやすく、継続しやすい仕組みとなっている。 ・実証に留まらず実装を見据えた計画が組まれている。また実現に向けたスケジュールは現実的で実行上のリスクも把握している。 ・本市、事業者及び関係機関の役割分担が整理されている

	④	提案内容の発展性・汎用性・持続性	20	・実証実験及び実装に係る内容は、期待する健康行動の変化及びその実現に向けた仕組みが明確であり、効果検証の方法が整理されている。 ・実証結果を本市施策へ還元し、改善や展開につなげる考え方が示されている。 ・事業者等が主体となり、取組を中長期的に牽引・継続・発展させていくことが期待できる。
	⑤	追加提案	10	追加提案の実行によって提案内容、既存サービス（及び既存事業）の発展性がイメージできる。
	⑥	ヒアリングにおける説明能力 （ヒアリング実施時評価）	30	・本市が提示した課題に対する分析が適切であり、解決手法から結論までの説明に論理的な一貫性がある。 ・事業者等の提案における各主張に関して根拠の提示ができている。 ・質疑に対して適切に応答できている。 ・リーダーシップを発揮し主体的かつ自立的に事業を推進する姿勢がみられる。
合計			120	

・事前審査では、「（１）参加資格」及び「（２）企画提案」の①～⑤について事務局で評価し、本審査では、「（２）企画提案」の①～⑤及び⑥について、委員の評価を平均したものを合計し評価点とする。
・評価点は小数点第二位を切り捨てる。